

中学美術の授業シラバス（総合進学コース）

教科	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
美術	2 年	必修	56	美術 2・3 上 学びの実感と広がり 美術 2・3 下 学びの探求と未来 (日本文教出版)	美術資料とワークシート (秀学社)、F 6 号スケッチブック、アクリルガッシュ 12 色セット、筆 3 本セット (彩色筆・平筆・面相筆)、スケッチ用携帯バッグ、彫刻刀 5 本セット、ipad (ロイロノート)

1 学習目標

年間学習目標	(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 (2) 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。 (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
--------	---

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	①人物画(スプーンの中の私) ②レタリング演習、絵文字のデザイン ③暮らしの中に生きるデザイン	モザイクタイル画	① 屏風作り ②日本の美意識
備考	基礎的な学習内容の定着をはかるため必要に応じて筆記考査を実施する。		

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・判断・表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判断・表現	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階		
	主体的学習態度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的学習態度	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

中学美術の授業シラバス (Sコース)

教科	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
美術	2年	必修	28	美術 2・3 上 学びの実感と広がり 美術 2・3 下 学びの探求と未来 (日本文教出版)	美術資料とワークシート (秀学社)、F 6 号スケッチブック、アクリルガッシュ 12 色セット、筆 3 本セット (彩色筆・平筆・面相筆)、スケッチ用携帯バッグ、彫刻刀 5 本セット、ipad (ロイロノート)

1 学習目標

年間学習目標	(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 (2) 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。 (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
--------	---

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	①人物画(スプーンの中の私) ② レタリング演習、絵文字のデザイン ③暮らしの中に生きるデザイン	モザイクタイル画	①屏風作り ②日本の美意識
備考	基礎的な学習内容の定着をはかるため必要に応じて筆記考査を実施する。		

*なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・判断・表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。